

(お知らせ)

柏崎刈羽原子力発電所 6号機タービン建屋内での水漏れについて

平成 19 年 4 月 25 日
東京電力株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

当所 6 号機（改良型沸騰水型、定格出力 135 万 6 千キロワット）は、定格熱出力一定運転中ですが、本日午後 2 時 26 分頃、タービン建屋地下 2 階復水器室において、床面に水溜まりがあることをパトロール中の当社社員が発見いたしました。

現場を確認したところ、タービン建屋 1 階復水器室内にある配管*に取り付けている保温材の隙間より水が滴下し、グレーチング（金網状の床）を通じて地下 2 階床面に溜まっていたことがわかりました。

発見した際に床面に溜まっていた水の量は約 4 リットル、放射エネルギーは約 1.2×10^4 ベクレルでした。

現在も微少な漏えいはありますが、液体廃棄物処理系で適切に処理しております。

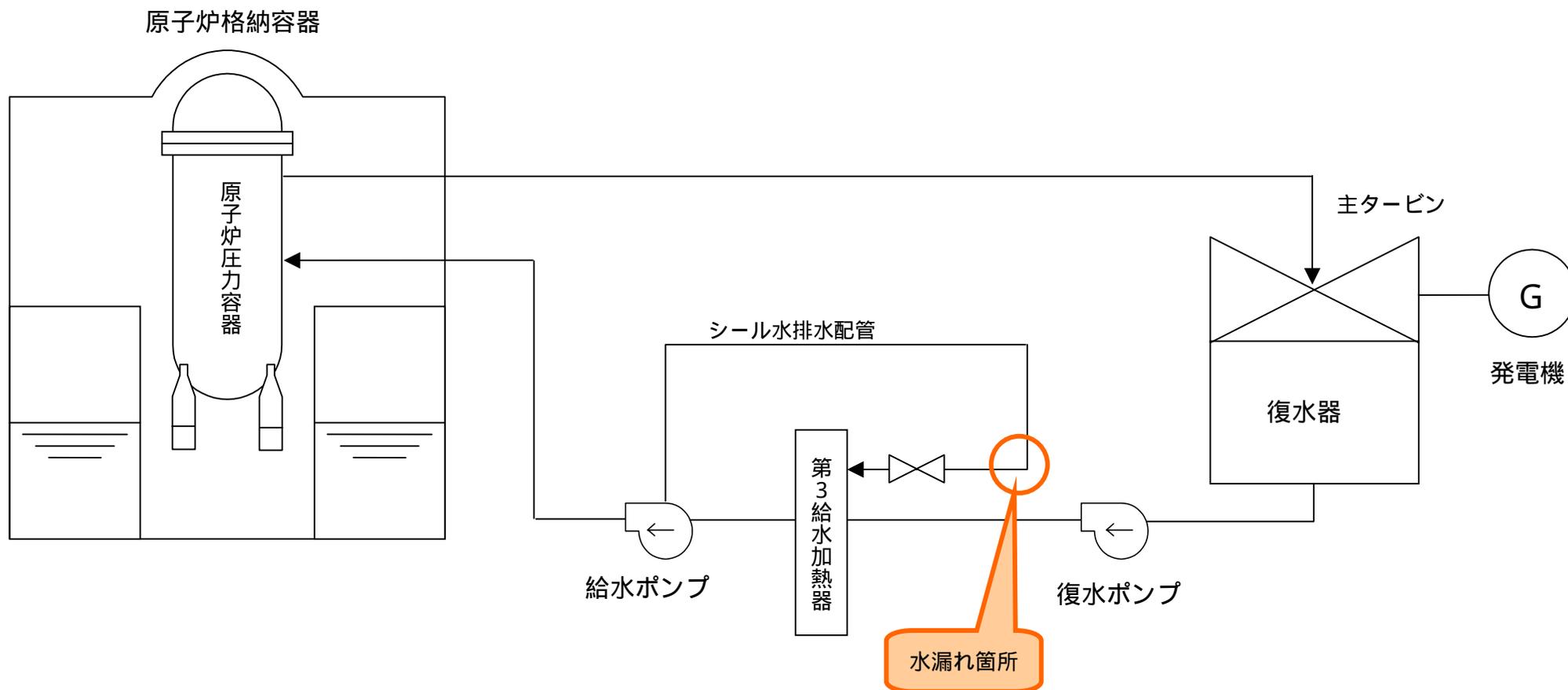
今後、漏えい箇所を調査いたします。

これによる外部への放射能の影響はありません。

以 上

*：配管

給水ポンプの軸封部のシール水を排水するための配管（外径：約 10cm）であり、第 3 給水加熱器に接続されている。



柏崎刈羽原子力発電所 6号機 水漏れ箇所 系統概略図